

臨時号 今年もがんばってくれたカラダをお風呂で労りましょう

るるぽか通信

■今年も一年ありがとうございました
いつも当店をご利用いただき、誠にありがとうございます。
回生堂の店長・桑名宏輔です。
今年も残りわずかとなり、年末のご挨拶をさせていただく時期となりました。本年もたくさんのお客様にご利用いただき、心より感謝申し上げます。2019年も皆様に喜んでいただけるような商品やサービスをご提供できるようスタッフ一同努力してまいります。今後共変わらぬお引き立ての

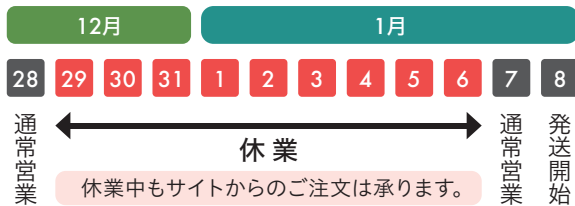
程、何卒よろしくお申し上げます。



■年末年始の営業について

年末年始の休業日につきましては、以下をご覧ください。ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

年末年始について



【商品の発送について】

12月28日(金)10時までにいただいたご注文は年内発送いたします。10時以降のご注文分は年明け8日(火)から順次発送いたします。

個包装タイプ まもなく商品化!

つるぽか通信をご覧の皆様にも、まだどこにも載せていない情報をお届けします！
予てより、お客様からは、「旅行でも使える使い切りタイプが欲しい」、「友達にもっと紹介しやすいようにしてほしい」といったご要望をいただいております。

た。そんな声にお答えするため、現在、「つるぽか特濃」の個包装タイプを開発中です！
販売開始は年明け後を予定しております。続報をお待ちいただければと存じます。



湯冷め対策を万全に!

11月に実施しました回生堂アンケートで「入浴後の湯冷め」についてお聞きしました。「湯冷めが気になる」という方は約68%にも上りました。

■「湯冷め」をするのはなぜ?
お風呂で温まると体温が上昇し血管が拡張します。ところが、脱衣所等が寒いと体が冷えて血管が収縮します。そのため急激に体温が下がり、寒さを感じてしまうのです。また、体に水分がついてると蒸発する際に体温を奪います。

■寒い冬のお風呂について
冬は42度以上の熱いお湯に浸かる方も多いようですが、ヒートショックのリスクも高まる上、湯冷めしやすい入り方もいえます。血流を良くするためには、熱いお湯に5分入浴するより、38～40度程度のぬるめのお湯に15分程度浸かる方が効果的といえます。ゆっくりと浸かることで、体を芯まで温めること

ができます。しかし、浴室内が寒いと、ぬるめのお湯ではかえって寒いことも。浴室暖房がない場合は、シャワーで浴室を温めるなど対策が必要です。

■湯冷めの対策法
入浴後に湯冷め対策をされている方は約半数の方で、多く挙げられたのは「靴下を履く」「暖かい服装」「髪を早く乾かす」でした。ぜひ、簡単にできる湯冷め対策を取り入れてみてください。

すぐにできる湯冷め対策

- 湯上がりに足に水をかける
足首に水をかけることで、表面温度を下げ、体内温度が下がりにくくなります。
- 浴室内で体をしっかり拭く
あたたかい浴室内で、水滴が残らないようにしっかりと体を拭きましょう。
- 特に首や足先をあたためる
靴下は足首まであたたためてくれるものがオススメです。
- 髪を早めに乾かす
濡れた髪は冷えやすいです。濡れた髪が首元にあたることを防ぎましょう。



スタッフからひとこと

今年から「つるぽか通信」を発行開始しましたが、いかがでしたでしょうか? 来年も皆様により良い商品とサービス、情報をお届けできるよう、努めてまいります。宜しくお願いいたします。(責任者・Mr.T)

今年は、つるぽか通信や顧客アンケートなど回生堂で初となる取り組みをいろいろスタートさせた年でした。皆様からの声を糧にして、来年も頑張ります!(店長・こ〜すけ)

Twitterやアンケートで、みなさまのお声を聞けることがうれしく、やりがいにつながっています。ありがとうございます。ぜひ来年もさまざまなお声をお聞かせください。(販促・ひぐ)